

## 伊藤大使によるバハルダール大学での講義

2022年11月15日、伊藤大使は、アムハラ州バハルダール大学にて、世界およびアフリカにおける日本の外交政策について講義を行いました。国際関係論や外交に関心のある約50名の学生や教授、研究者等が、講義に出席しました。

伊藤大使は、人口、国土、GDP、エネルギー生産の構成、貿易、産業等においてエチオピアと日本を比較し、日本についての聴衆の理解を深めました。また、第二次世界大戦後の平和国家としての日本外交の展望と、ここ数十年の国際社会における力学の変化について説明しました。さらに、日本と近隣諸国との関係や未解決の諸問題についても紹介しました。また、日本の重要なイニシアティブである FOIP (Free and Open Indo-Pacific Strategy) や TICAD 8 の成果についても触れ、日本のアフリカ外交について説明しました。参加者からは、日本のエチオピアに対する ODA やロシアのウクライナ侵攻に対する日本の立場、東南アジアにおける日本の ODA の成功体験をエチオピアでどう生かすか等、興味深い質問が多く出されました。



伊藤大使による講義の様子



聴衆からの質問



集合写真